

令和 2 年 3 月 27 日時点

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<p><b>1 スポーツの推進</b></p> <p>①東京 2020 大会に向けた「オール三重」推進体制構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カナダアーティスティックスイミングチームのキャンプ時に合わせて、「カナダ応援事業」を実施するとともに、カナダレスリングチームや英国パラスイミングチームの事前キャンプ時に合わせて交流事業を実施</li> <li>・東京 2020 オリンピック・パラリンピック聖火リレーについて、県内市町や関係機関等の協力を得て、ランナー選定や各種行事の計画立案、広報活動等、本格的な運営準備を実施 事業費：28,118 千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四日市市がカナダ女子体操チームの事前キャンプを受入（3月31日～4月4日）</li> <li>・カナダアーティスティックスイミングチームの事前キャンプを受入（4月14日～同月25日）</li> <li>・伊勢市がラオスパラ陸上チームの事前キャンプを受入（7月26日～8月1日）</li> <li>・志摩市がペイントライアスロン連盟と事前キャンプに関する協定書締結（8月13日）</li> <li>・東京 2020 オリンピック聖火リレーに係る県内ルートや日程等を発表（6月1日）</li> <li>・東京 2020 オリンピック聖火リレーに係る聖火ランナー（三重県実行委員会枠）を募集（募集期間7月1日～8月31日）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【スポーツ推進課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オリンピック聖火リレー <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県聖火ランナー選定委員会の開催（10月18日）</li> <li>・オリンピック・パラリンピック応援フェア（オリンピック聖火リレー・パラリンピック聖火リフェスティバルPRなど）を開催（11月23日、24日）</li> <li>・道路レベルの詳細ルートが決定（12月17日）</li> <li>・三重県実行委員会公募枠の聖火ランナー（29名）が決定（12月26日）</li> <li>・ボランティアを募集（応募人数1,078人、募集期間12月23日～1月31日）</li> <li>・「オリンピックの聖火リレー～56年の時を超え～」(企画展関連展示)を総合博物館で実施(来場者数約2,000人、1月11日～同月13日)</li> <li>・三重県実行委員会推薦枠の聖火ランナー（15枠24名）が決定（1月16日）</li> <li>・各区間の出発予定時刻、到着予定時刻が決定（2月13日）</li> <li>・三重県実行委員会枠の聖火ランナーが走行する市町が決定（3月7日）</li> <li>・聖火ランナーが走行する区間が決定（3月下旬頃）</li> </ul> </li> <li>●パラリンピック聖火フェスティバル <ul style="list-style-type: none"> <li>・採火を実施する市町を発表（11月22日）</li> <li>・「採火（式）・集火（式）・出立（式）」に係る採火方法等を発表（2月6日）</li> </ul> </li> <li>●東京 2020 大会事前キャンプ <ul style="list-style-type: none"> <li>・カナダレスリングチームの事前キャンプを受入れ。地元小中学校を訪問するなど、交流事業を実施（10月5日～同月9日）</li> <li>・カナダを身近に感じられるような体験型イベントやパネル展示などのカナダ応援事業を実施（11月23日、24日）</li> <li>・英国パラスイミングチームの事前キャンプを受入れ。県内パラ水泳選手及び指導者との合同練習会など交流事業を実施（1月7日～同月27日）</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">【スポーツ推進課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<p><b>②競技力向上対策事業</b></p> <p>・2021年の三重とこわか国体に向けて、ジュニア・少年選手の育成・強化、成年選手の獲得、練習環境の整備など、各競技団体の現状に即した効果的な強化対策を実施</p> <p>・三重とこわか国体の後も継続して三重県の競技スポーツを担う人材育成につなげるため、「チームみえ・コーチアカデミーセンター」の取組を充実</p> <p style="text-align: right;">事業費：691,552千円</p>	<p>・高校運動部32校69部、ジュニアクラブ・運動部15クラブ、大学運動部、企業・クラブチーム17部を強化指定するとともに、全国・国際スポーツ大会で活躍し「チームみえ」の一員として「三重とこわか国体」での活躍が期待できるトップアスリート7名を強化指定し、その強化活動を支援</p> <p>・「チームみえ・コーチアカデミーセンター事業」の取組を継続。このうち、優れた指導者の養成のための講習などを中心とする「みえコーチアカデミー」については、第2期生19名を対象に4月以降、延べ4日間、計19コマの講習や演習を実施。また、専門スタッフを配置・派遣し指導体制の構築を図る「みえマルチサポートシステム」についても、競技・指導等の実情に応じて、4月から順次実施</p> <p>・有力な大学運動部などに三重の魅力や強みを積極的にPRするなど、トップアスリートの獲得と県内定着に向け、競技団体、県体育協会とともに就職支援の取組を実施</p> <p style="text-align: right;">【競技力向上対策課】</p>	<p>・強化指定した、高校運動部、ジュニアクラブ・運動部、大学運動部、企業・クラブチーム、トップアスリートに対し、引き続きその強化活動を支援</p> <p>・「みえコーチアカデミー」による優れた指導者の養成や、「みえマルチサポートシステム」による指導体制の構築の取組を引き続き実施</p> <p>・今年度からの受講者（第2期生19名）には、4月から1年間を通じて、延べ8日間24コマの講習や演習を実施し、修了</p> <p>・令和2年4月採用に向け、就職支援の取組を、競技団体、県体育協会とともに引き続き実施</p> <p style="text-align: right;">【競技力向上対策課】</p>
<p><b>③オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業</b></p> <p>・全国中核拠点である早稲田大学と連携し、推進指定校において、オリンピック・パラリンピック教育を実施するとともに、その内容や成果の発信</p> <p style="text-align: right;">事業費：1,168千円</p>	<p>・推進指定校地域セミナーを開催（8月29日）</p> <p>※「推進指定校地域セミナー」</p> <p>オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の全国中核拠点である早稲田大学のオリンピック・パラリンピック教育センターから、推進指定校の担当者を対象に本事業の概要説明及び全国事例を紹介</p> <p>※「推進指定校」</p> <p>オリンピック・パラリンピック教育をモデル的に実施し、取組の内容や成果を実践報告会で発表、報告書を作成する。</p> <p>（木曾岬町立木曾岬小学校、鈴鹿市立桜島小学校、松阪市立松尾小学校、松阪市立殿町中学校、紀北町立紀北中学校、県立宇治山田商業高等学校、かがやき特別支援学校草の実分校の7校）</p> <p style="text-align: right;">【保健体育課】</p>	<p>・推進指定校において、オリンピック・パラリンピアンによる講演会等を開催（10月～2月に実施）</p> <p>10月16日（水）紀北中学校 衛藤 昂 187名参加</p> <p>10月24日（木）桜島小学校 細川 宏史 151名参加</p> <p>11月8日（金）木曾岬小学校 野口 みずき 296名参加</p> <p>11月11日（月）かがやき特別支援学校草の実分校 多田 智美 脇田 竜弥 36名参加</p> <p>11月22日（金）松尾小学校 野口 みずき 294名参加</p> <p>11月25日（月）宇治山田商業高校 山口 舞 250名参加</p> <p>12月16日（月）殿町中学校 前川 楓 138名参加</p> <p>2月3日（月）かがやき特別支援学校草の実分校 多田 智美、脇田 竜弥、森 祐輝 36名参加</p> <p>・実践報告会の開催（2月実施）</p> <p>オリンピック・パラリンピック教育の実践内容や成果を令和2年2月に県内8会場で開催する元気アップブロック別協議会の中で、公立小・中学校及び県立高等学校に対し、実践報告を行い、共有。県立特別支援学校に対しては今後の取組の参考となるよう校長会にて報告</p> <p style="text-align: right;">【保健体育課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<p><b>2 障がい者スポーツの推進</b> 障がい者スポーツ推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大会で活躍できる選手を発掘・育成するため、選手への練習プログラムの提供等を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">事業費：2,739千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大会を目指す身体障がい者選手の発掘・育成に取り組んでおり、理学療法士、義肢装具士、競技指導者等が一体となり、選手へ練習プログラムを提供</li> <li>・三重県在住の国内競技団体強化指定選手に対し、強化合宿や大会に参加する旅費を補助</li> </ul> <p style="text-align: right;">【障がい福祉課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の大会を目指す身体障がい者選手に対し、理学療法士、義肢装具士、競技指導者等が練習プログラムを提供 (2月末時点事業実施2名)</li> <li>・三重県在住の国内競技団体強化指定選手に強化合宿や大会に参加する旅費を補助(2月末時点申請3名)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【障がい福祉課】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある子どもと障がいのない子どもが障がい者スポーツを通じた交流及び共同学習に参加することで、障がい者に対する理解を促進</li> <li>・障がい者スポーツの普及と選手の育成を図るため、障がい者スポーツ指導員による実技指導の実施</li> <li>・在学中から運動・スポーツに親しみ、楽しみながら生涯にわたって運動・スポーツに取り組むことができるよう、ボッチャ等の交流試合を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">事業費：－千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員向け障がい者スポーツ実技講習会開催 (7月1日、13名参加)</li> <li>・特別支援学校ボッチャ大会開催(9月9日)</li> <li>・障がい者スポーツを通じた交流及び共同学習の実施 (各特別支援学校において適宜実施)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【特別支援教育課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツに係る出前授業等の実施</li> <li>・障がい者スポーツを通じた交流及び共同学習の実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【特別支援教育課】</p>
<p><b>3 文化の振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国の文化芸術振興施策をふまえ、本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に発信するため、開館5周年の総合博物館や開館30周年・史跡齋宮跡指定40周年を迎える齋宮歴史博物館等において、周年を記念した特別展等を開催</li> </ul> <p style="text-align: right;">事業費：342,053千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に向け発信するため、総合博物館の開館5周年記念特別展「この男がジブリを支えた。近藤喜文展」(7月6日～9月16日)を開催</li> <li>・県立文化施設等の公演や展覧会、イベント等について「beyond2020プログラム」の認証を受けることにより、文化庁が運営する文化情報ポータルサイト(多言語)を活用して国内外へ情報発信</li> </ul> <p style="text-align: right;">【文化振興課、県立文化施設】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に向け発信するため、総合博物館の開館5周年記念特別展「三重の仏像～白鳳仏から円空まで」(10月5日～12月1日)及び、齋宮歴史博物館開館30周年記念・史跡齋宮跡指定40周年記念特別展「東雲の齋王大来皇女と壬申の乱」(10月5日～11月10日)を開催(特別展ともに「beyond2020プログラム」認証事業)</li> <li>・文化庁「日本博」の事業を活用して、齋宮モニター調査やインバウンドトークの開催、齋宮PRアニメの作成等、齋宮への訪日外国人を含めた訪問者の増加を図る事業を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【総合博物館、齋宮歴史博物館】 【文化振興課、齋宮歴史博物館】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<ul style="list-style-type: none"> <li>「beyond2020 プログラム」の認証組織として、県内に拠点がある文化団体や企業等を対象に同プログラムの認証を行うとともに、活用促進に向けた取組を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">事業費： - 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県が認証した事業を県ホームページに掲載して情報発信するとともに、8月に開催した県・市町文化行政連絡会議で「beyond2020 プログラム」への申請について働きかけを実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【文化振興課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県が認証した事業を県ホームページに掲載して情報発信するとともに、「beyond2020 プログラム」への申請について働きかけを実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【文化振興課】</p>
<p><b>4 農林水産業の振興</b></p> <p>①農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京 2020 大会というビッグチャンスを見逃さず、大会における影響力の高いホテルや大会スポンサーと連携したプロモーションを展開し、県産農林水産物の認知度や評価を向上させる取組を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">事業費： 2,423 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京オリパラ三重県農林水産協議会全体会の開催（6月7日）</li> <li>東京 2020 大会スポンサー企業である食品メーカーと連携し、県内量販店のべ 100 店舗において同大会調達基準であるGAP等認証食材を中心とした県産食材の活用を促進</li> <li>同大会スポンサー企業である航空輸送事業者と連携し、セントレア発国際線機内食において、GAP等認証食材を中心とした県産食材の活用を促進</li> <li>首都圏のラグジュアリーホテルを含む大都市圏の3ホテルと連携して三重県フェアを開催し、県産農林水産物の認知度や評価の向上を図る取組を展開</li> <li>東京オリパラ三重県農林水産協議会全体会の開催（9月27日）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【フードイノベーション課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京 2020 大会スポンサー企業である食品メーカーと連携し、県内量販店 46 店舗において、同大会調達基準である伊勢まだい(AEL認証食材)を含む4品目の県産食材の活用を促進</li> <li>首都圏の2ラグジュアリーホテル、レストラン並びに高級フルーツ店と連携した三重県フェアを開催し、のべ32品目の県産農林水産物の認知度や評価の向上を図る取組を展開</li> <li>東京オリパラ三重県農林水産協議会全体会の開催（3月13日）</li> <li>首都圏の2ラグジュアリーホテルにおいて三重県フェアを開催（3月1日～4月30日）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【フードイノベーション課】</p>
<p>②東京オリ・パラを契機としたみえの食材イノベーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京 2020 大会に関連するさまざまな場面において、県産食材が1品でも多く活用され、大会後に恒常的な取引へと発展させていくため、ケータリング事業者や首都圏飲食店等に戦略的プロモーションを実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">事業費： 4,196 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カナダアーティスティックスイミングチーム歓迎レセプションにおいて、東京 2020 大会の食材調達基準を満たす（GAPやAEL等の認証を取得した）食材を使用した料理提供を通じて、県産食材のPRを実施（4月19日）</li> <li>東京 2020 大会ホストタウンと県内農業高校等が連携した取組を対象とするコンテスト実施に係る県内説明会（選手に三重の食材を食べてもらおうプロジェクト！）の開催（6月26日）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【フードイノベーション課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケータリング事業者やホテルバイヤー、飲食店関係者など 46 名を県内に招へい、産地視察・創作料理試食・商談・交流会を開催し、生産者自らが、生産の歴史や工夫など、県産品の背後にあるストーリーを伝える産地視察や、調理専門学校（学生によるアイデア料理の試食、食材の生産者などとの商談会を実施（10月17日、18日）</li> <li>県内の農業高校5校がホストタウン自治体とプロジェクトチームを結成し、自校で生産している結びの神や特産松阪牛などGAP取得農畜産物を活用したおもてなしをする企画「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」に取り組み、県産食材・おもてなしのすばらしさを発信（12月16日～1月15日）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【フードイノベーション課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<p>③「広がれGAPの輪」推進支援事業</p> <p>・GAPの取組の拡大を図るため、指導員の育成や地域GAP推進チームによる認証取得支援、農業大学校での学習環境の整備、認知度を高めるPR活動等に取り組むとともに、有機JAS認証取得の支援などを実施 事業費：22,452千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GAP実践を推進・支援する指導員を育成するため、「JGAP指導員基礎研修」を開催（6月6日、7日 参加者16名、8月22日・23日 参加者15名）</li> <li>・GAP認証取得を指導・支援するリーダー指導員を育成するため、「団体認証研修」を開催（8月27日・28日 参加者11名）</li> <li>・GAPの実践や認証取得を推進するため、生産者等を対象とした研修会などを開催（6回、参加者152名）</li> <li>・地域GAP推進チームを核としたGAP認証取得や実践に向けた指導・支援（126回）</li> <li>・三重テラスで「三重県GAP食材フェア」を開催（8月31日～9月16日）</li> <li>・有機JAS認証取得を推進するため、「有機JAS制度入門研修」を開催（8月28日 参加者20名）【農産園芸課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GAPの取組を加速するため、GAPのメリットを農業者や消費者の皆さんと共有することを目的に三重県GAP推進フォーラムを開催（1月24日、参加者260名）</li> <li>・GAPの実践や認証取得を推進するため、生産者等を対象とした研修会などを開催（22回、参加者392名（2月末時点））</li> <li>・地域GAP推進チームを核としたGAP認証取得や実践に向けた指導・支援（782回（2月末時点））</li> <li>・首都圏の5つのレストランや社員食堂において、三重県産GAP認証・農福連携野菜等を使ったメニューを提供する三重県フェアを開催（12月2日～2月14日、新宿区役所食堂など6か所、約5,500食提供）</li> <li>・首都圏のイベント施設や企業等において、三重県産GAP認証・農福連携野菜等のマルシェを開催（11月～2月、5回）</li> <li>・有機JAS認証取得を推進するため、「有機JAS生産工程管理責任者育成講習会」を開催（11月5日、参加者1名） 【農産園芸課】</li> </ul>
<p>・GAP認証の継続のため、県立農業高校5校で農産物の安全、環境への配慮などを理解する学習を実施するとともに、GAPの取組で得られた成果を生かした流通や販売に関する学習を推進 事業費：—千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明野高校でGGAP継続審査を実施（7月26日）</li> <li>・福島県の農業高校が三重県を訪問（8月26日～27日）</li> <li>・三重テラスで行われたGAP食材フェアに参加（8月31日）</li> <li>・四日市農芸高校でGGAP継続審査を実施（9月6日）</li> <li>・久居農林高校、伊賀白鳳高校でアジアGAP継続審査を実施（久居農林9月10日、伊賀白鳳9月13日）</li> <li>・GAP食材を使ったおもてなしコンテスト（内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局主催）に県内全ての県立農業高校（5校）が参加 【高校教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相可高校、四日市農芸高校でアジアGAP継続審査を実施（相可11月5日、四日市農芸1月7日）</li> <li>・明野高校、相可高校でJGAP家畜・畜産物継続審査を実施（明野高校11月28日、相可高校11月29日）</li> <li>・県内全ての県立農業高校（5校）の代表生徒7名が、福島県立岩瀬農業高校等を訪問（12月25日～同月27日） 【高校教育課】</li> </ul>
<p>④東京オリ・パラに向けた三重の農産物販売力強化促進事業</p> <p>・東京オリ・パラにおける多様な需要に対して、米・野菜・花き花木等の県産農産物を供給するため、首都圏での関係事業者へのプロモーションなどの取組を実施 事業費：2,662千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米について、首都圏における販売促進事業を委託する事業者（みえの米ブランド化推進会議）を選定</li> <li>・なばな冷凍商品について、全農三重県本部、加工事業者とケータリング事業者への供給体制づくりについて協議 【農産園芸課】</li> </ul>	<p>(結びの神)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏では、米穀販売店（結米屋）と連携して新たに百貨店3店舗（東急百貨店たまプラーザ、阪急百貨店大井食品館、都築阪急）に継続販売を目指したプロモーションを実施、新たに阪急百貨店2店舗（大井食品館、都築阪急）での取扱が成立</li> <li>・京阪神では、米穀事業者（美米庵）と連携して高島屋3店舗（なんば・泉北・京都）にプロモーションを行い、販売促進活動を実施（1月24日、25日）。泉北店、京都店で継続販売が成立（伊賀コシヒカリ）</li> <li>・首都圏等のホテル内の飲食店、料亭などへのプロモーションを実施</li> </ul> <p>(花き花木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の花きイベントへの出展等により、首都圏の緑化事業者等へのプロモーションを実施（1月31日～2月2日） 【農産園芸課】</li> </ul>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<p>⑤東京オリ・パラへの畜産物供給体制構築事業</p> <p>・東京オリ・パラにおける畜産物への多様な需要に向け、高品質ブランド和牛の生産体制やエコフイード等の利活用によるE C O畜産物供給体制の構築等の取組を実施</p> <p style="text-align: right;">事業費：16,668千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産研究所で出生したプレミアム繁殖雌和牛候補牛（2頭）を繁殖農家へ譲渡（6月、8月）。県内繁殖農家への受精卵を配布する親牛として利用するための育成を実施</li> <li>・O P Uやと畜由来の体外受精卵移植技術の確立、体内受精卵等の乳牛等への移植や交雑種等の活用による和牛2卵移植技術の開発を継続。また、体外受精卵の保存期間を延長する基礎技術の開発を継続</li> <li>・昨年度実施した採卵鶏へのバナナ粉末給与試験の継続及び再現性の確認を実施（4月～）</li> <li>・採卵鶏へのバナナ粉末給与試験（6月～9月）の途中経過報告を行うとともに、廃棄物処理業者と飼料メーカーのマッチング調整を開始（8月）</li> <li>・昨年度実施した肥育豚へのビール粕給与試験の結果を麦酒製造業者へ報告するとともに、麦酒製造業者と畜産農家のマッチングを検討（9月）</li> <li>・子豚へのバナナ粉末給与試験の実施（8月～10月）</li> <li>・肥育豚へのバナナ粉末給与試験の実施（9月～10月）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【畜産課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレミアム繁殖雌牛由来の体内受精卵における、県内繁殖農家への供給体制の確立に向けて、既に譲渡した繁殖農家での受胎状況等の調査を実施</li> <li>・体外受精卵の保存期間を延長する基礎技術を開発</li> <li>・採卵鶏へのバナナ粉末給与試験の結果分析を実施（10月～3月）</li> <li>・肥育豚へのバナナ粉末給与試験結果の分析（11月～3月）を実施</li> <li>・採卵鶏、肥育豚へのバナナ粉末給与試験結果を廃棄物処理業者へ報告（3月）</li> <li>・畜産研究所の試験結果を基にしたマッチング調整を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【畜産課】</p>
<p>⑥J G A P家畜・畜産物等の導入加速化推進事業</p> <p>・畜産のG A P取組の拡大を図るため、指導員等を育成するとともに、地域G A P推進チームを核として、生産者の認証取得等を効果的かつ効率的に支援</p> <p style="text-align: right;">事業費：5,013千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J G A P家畜・畜産物等の認証制度を普及啓発</li> <li>・地域機関に設置した「地域G A P推進チーム」が中心となり、J G A P家畜・畜産物等の認証制度に取り組む農場に対し、取組状況に応じた指導・助言を継続して実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【畜産課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農場H A C C Pの認証取得農場あるいは取組農場に対し、「J G A P家畜・畜産物」の認証取得に向けた重点的な指導を「地域G A P推進チーム」が中心となり実施（12農場）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【畜産課】</p>
<p>⑦「もっと県産材を使おう」推進事業（一部）</p> <p>・東京オリ・パラを契機としたホテル等首都圏の施設改装等において、県産森林認証材等の採用等の需要拡大を見込み、引き続き首都圏での建築・建材関係の展示会への出展及び木材流通事業者等へのプロモーションを実施</p> <p style="text-align: right;">事業費：1,108千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏において、木材流通事業者及び建築物の木造・木質化の取組を推進している市役所・区役所を訪問し、県産木材のP Rを実施（7月、9月）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【森林・林業経営課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県産地視察・試食商談会にて、県産木製品のP Rを実施（10月）</li> <li>・首都圏において、木材利用に取り組んでいる区役所等を訪問し、県産木材のP Rを実施（10月、11月）</li> <li>・「第58回農林水産祭 実りのフェスティバル」に出展し、県産木材製品のP R及び物販を実施（11月）</li> <li>・東京ビッグサイトで開催された「ジャパンホームショー」に三重県ブースを出展し、県産木材のP Rを実施（11月）</li> <li>・ららぽーと豊洲で開催された「農業遺産展」に出展し、日本農業遺産「尾鷲ヒノキ林業」をP Rするとともに、尾鷲ヒノキ製品の物販を実施（11月）</li> <li>・東京ビッグサイトで開催された「WOODコレクション」に三重県ブースを出展し、県産木材のP Rを実施（12月）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【森林・林業経営課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<p>⑧東京オリ・パラに向けたみえの水産物販売力強化事業</p> <p>・東京オリ・パラを契機に、首都圏での県産水産物の販路拡大につなげるため、持続可能性を確保した漁業の認証取得等に向けた支援を行うとともに、食材調達基準を満たす県産水産物等の販売力強化等に向けた取組を実施 事業費：1,526千円</p>	<p>・首都圏における県産水産物のPRイベント等に向けて、対象魚種及び開催時期等について、漁協等の関係団体と協議を実施</p> <p>・水産エコラベル認証及びHACCPに関する研修会の開催に向けて、大日本水産会及び漁協、水産加工業協同組合等と協議を実施</p> <p>※7月26日に、鳥羽磯部漁協和具浦支所運営委員会によるワカメ養殖及び塩蔵加工が、MEL認証を取得 【水産資源・経営課】</p>	<p>・松阪市において、県内黒のり養殖業者を対象としたHACCPに関する研修会を開催（10月1日）</p> <p>・知事が江藤農林水産大臣を訪問し、イセエビ漁解禁及び県産水産物のPRを実施（10月7日）</p> <p>・首都圏量販店のバイヤー等を訪問し、県産ブランド水産物「答志島トロさわら」のPR事業を実施（12月16日）</p> <p>・東京豊洲市場において、市場関係者や首都圏の流通・飲食業関係者を対象とした、県産水産物の展示商談会を開催（2月18日） 【水産資源・経営課】</p>
<p>5 三重県企業の参画に向けた支援</p> <p>・ISO-HACCP研修会（食品産業振興会による取組） HACCP義務化や東京オリンピック・パラリンピック、グローバル化への対応等を見据えた研修会を実施 事業費：—千円</p>	<p>・東京オリ・パラを契機とした食品関連事業者における販路拡大等対策の一環として、食品衛生管理を行う上で基礎となる「食品衛生7S研修会（入門・基礎編）※」を実施（8月28日、29日 参加者：食品製造事業者等62名） ※食の安全・安心を守るための必須条件ともいわれる7S（整理・整頓・清掃・洗浄・殺菌・躰・清潔）に関する基本的事項を習得するための研修</p> <p>・2018年6月に食品衛生法が改正され、原則すべての食品事業者にHACCPに沿った食品衛生管理が求められることから、食品衛生法改正のポイントやHACCPに沿った食品衛生の管理手法について研修会を実施（8月1日、参加者：食品製造事業者等32名） 【中小企業・サービス産業振興課】</p>	<p>・東京オリ・パラを契機とした食品関連事業者における販路拡大等対策の一環として、次の研修会を開催</p> <p>・食品の衛生管理手法であるHACCPなどに関する基礎的な知識を習得するため、「ISO-HACCP研修会」を実施（10月2日、10月9日、10月16日、10月23日、10月30日、11月5日、11月13日、参加者：食品製造事業者等30名）</p> <p>・食品の衛生管理技術（微生物検査）に関する知識を習得するため、「微生物検査実習会」を実施（11月19日、21日、参加者：食品製造事業者等10名）</p> <p>・賞味期限及び消費期限等を適切に設定できるよう、「官能検査実習会」を実施 （基礎編 1月17日、参加者：食品製造事業者等10名） （発展編 2月21日、参加者：食品製造事業者等5名）</p> <p>・「食品衛生7S研修会（発展編）」 （2月5日、6日、参加者：食品製造事業者等36名） 【中小企業・サービス産業振興課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<p><b>6 訪日外国人旅行者の誘致</b></p> <p><b>①海外誘客推進プロジェクト事業</b></p> <p>・インバウンドの拡大を図るため、「#visitmie キャンペーン」の展開による、個人の外国人旅行者（F I T）に向けたSNS等による情報発信やゴルフツーリズムの推進等により、欧米・アジアからの富裕層等を誘客 事業費：42,102 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ F I T 向け情報発信 Facebook（7言語8種）：週1回以上投稿 ※フォロワー数：約149,400人（7月31日現在） Instagram（3言語）：週1回以上投稿 ※フォロワー数：約17,100人（7月31日現在） 「#visitmie キャンペーン」第1弾：7月7日～9月30日実施 ※投稿数：7,516件 「ミシュランガイド愛知・岐阜・三重 2019 特別版」英語版 Web サイトの公開（6月18日～）</li> <li>・ ゴルフツーリズム タイとのMOUに基づく交流事業の実施 ※121名のゴルフツアー客が来県（5月12日～同月16日） 「ゴルフツーリズムを活用した外国人高所得者層の地方への誘客促進事業」の実施（8月～1月） ※パタヤゴルフフェスティバルに参加（9月28日～10月1日） 〔（一社）みえゴルフツーリズム推進機構が実施〕 【海外誘客課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ F I T 向け情報発信 Facebook（7言語8種）：週1回以上投稿 ※フォロワー数：約182,700人（2月29日現在） Instagram（3言語）：週1回以上投稿 ※フォロワー数：約18,600人（2月29日現在） 「#visitmie キャンペーン」第2弾：10月1日～1月6日実施 ※投稿数：8,273件</li> <li>・ ゴルフツーリズム タイとのMOUに基づく交流事業の実施 ※フレンドリーゴルフツアーinパタヤの実施（32名参加）（10月26日～同月30日） 〔（一社）みえゴルフツーリズム推進機構が実施〕 International Golf Travel Market 出展（10月14日～同月17日） 「欧米豪の高所得者層向けゴルフ訪日旅行創出事業（紀伊半島周遊事業）」の実施（11月10日～同月15日） 【海外誘客課】</li> </ul>
<p><b>②海外プロモーション推進事業</b></p> <p>・本県の認知度を高め、外国人旅行者の更なる誘致を図るため、海外での旅行博覧会出展、海外旅行会社へのセールス・商談会の開催、また旅行雑誌・TV等海外メディアを招請する取組を実施 事業費：15,001 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外旅行博への出展 台湾・日本東海玩樂祭（7月） シンガポール・ジャパントラベルフェア（9月） マレーシア・MATTA フェア（9月）</li> <li>・ 海外旅行会社等へのセールス、商談会参加 台湾・セールス（6月）、タイ・セールス（7月） シンガポール・セールス（7月） タイ・近鉄商談会（9月）、台湾大商談会（9月）</li> <li>・ メディア・旅行会社等による取材、視察の受入等 中国、タイ、フランス、台湾、豪州、米国、シンガポール、香港 等（18件） 【海外誘客課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外旅行博への出展 タイ・J N T O 主催訪日旅行フェア（11月）</li> <li>・ 海外旅行会社等へのセールス、商談会参加 台湾・セールス（2月） VISITJAPAN トラベル&amp;MICE マート（10月、大阪） VISITJAPAN Travel Mart 2019 -ASEAN INDIA-（11月、愛知） 東南アジアランドオペレーター商談会（1月、三重）</li> <li>・ メディア・旅行会社等による取材、視察の受入等 台湾、香港、インド、シンガポール、欧米豪 等（17件） 【海外誘客課】</li> </ul>
<p><b>③三重県版観光スマートサイクル確立事業</b></p> <p>・スマートフォンを使ったアンケートにより観光客の動向やニーズ等を把握する「スマホでみえ得キャンペーン」を展開し、サービス向上や商品開発等、戦略的なマーケティングを推進 事業費：24,690 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「答えてラッキー！スマホでみえ得キャンペーン」の実施（第1弾：8月8日～2月29日） 【観光魅力創造課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「答えてラッキー！スマホでみえ得キャンペーン」の実施（第1弾：8月8日～2月29日、第2弾：3月1日～8月31日）</li> <li>・ インバウンド向け観光PR動画の作成・配信</li> <li>・ AIを活用した外国人向け観光案内「VISITMIE AI チャットボット」を実施（11月15日～3月31日） 【観光魅力創造課、海外誘客課】</li> </ul>



令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<p><b>④国内誘客推進事業</b></p> <p>・持続的な三重県観光の基盤強化のため、観光情報の発信と誘客促進の取組を一体的に展開 事業費：10,887千円</p>	<p>・「ツーリズム EXPO ジャパン 2019」における忍者文化等のPRに向けた調整 【観光魅力創造課】</p>	<p>・「ツーリズム EXPO ジャパン 2019」において忍者文化等をPR（10月24日～同月27日、大阪） 【観光魅力創造課】</p>
<p><b>⑤クルーズ船寄港に向けた受入体制の充実・強化事業</b></p> <p>・外国クルーズ船寄港時における受入体制の充実・強化及び県内各地への誘客促進に向けた取組を実施 事業費：2,305千円</p>	<p>・外国客船「ダイヤモンド・プリンセス」が四日市港、鳥羽港に寄港（四日市港4月・7月、鳥羽港4月・8月・9月） ・外国客船「EOUROPA II」が鳥羽港に初寄港（5月） ・外国客船「クリスタル・エンデバー」が令和2年9月に鳥羽港へ初寄港することが決定（6月） ・（一財）みなと総合研究財団のクルーズ総合研究所が設立した全国クルーズ客船誘致受入連絡会に加入（6月） ・クルーズ船寄港時の通訳ボランティアの募集・活用、オプションツアー造成に向けた船社等への提案など（随時） 【観光魅力創造課】</p>	<p>・外国客船「ダイヤモンド・プリンセス」が鳥羽港に寄港（11月、12月、1月） ・クルーズ船寄港時の通訳ボランティアの募集・活用、オプションツアー造成に向けた船社等への提案など（随時） 【観光魅力創造課】</p>
<p><b>⑥三重県版バリアフリー観光推進事業</b></p> <p>・パーソナルバリアフリー基準による、三重県版バリアフリー観光が浸透するよう、同基準による調査やアドバイス及び観光ボランティアに関するスキルアップを目的としたバリアフリー研修を実施し、障がい者や高齢者、外国人でも安心して訪問できる三重県の魅力ある観光地づくりを推進 事業費：2,064千円</p>	<p>・宿泊施設等との調整 【観光政策課】</p>	<p>・県内の宿泊施設を対象として、バリアフリー・インバウンド対応状況の調査及び施設管理者へのアドバイスを実施（年間10施設） ・県内で活躍する観光ボランティアを対象として、紀宝町にてバリアフリー研修を実施（10月29日） 【観光政策課】</p>
<p><b>7 東京オリ・パラの気運醸成</b></p> <p>・「スポーツを通じて元気な地域社会をつくるために」を、令和元年度に全庁をあげて積極的に情報発信に取り組む「重点広報テーマ」としており、スポーツに関する県事業の広報を行う際に「東京オリ・パラ」のキーワードを活用した広報を実施 事業費：－千円</p>	<p>・東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地誘致や聖火ランナーの募集、各種イベント等において、多様な媒体での「東京オリ・パラ」の広報を実施 【広聴広報課】</p>	<p>・東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーに係る取組、聖火リレーボランティアの募集、オリンピック・パラリンピック応援フェアの開催等について、SNS、広報紙、テレビ、ホームページ等、多様な媒体での「東京オリ・パラ」の広報を実施 ・「三重とこわか国体・三重とこわか大会開催600日前イベント」の開催について、首都圏のメディアを対象にしたニュースリリース配信 【広聴広報課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組（予定含む）
<p><b>太平洋岸自転車道の整備・PR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太平洋岸自転車道推進協議会にて決定される統一の仕様を勘案し、県管理道路の太平洋岸自転車道において、自転車通行空間の整備を行うとともに、官民連携による取組等を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">事業費：138,000千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>太平洋岸自転車道推進協議会にて決定された統一ロゴ、整備仕様について関係機関と共有し、官民連携した取組を推進</li> </ul> <p style="text-align: right;">【道路企画課、道路管理課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>統一ロゴ、整備仕様等に基づき、自転車走行における受入環境の整備を行うとともに、官民連携による太平洋岸自転車道の情報発信を行う取組を引き続き実施</li> <li>志摩市で開催されたサイクリングイベント（第6回伊勢志摩サイクリングフェスティバル）で、太平洋岸自転車道推進三重地区協議会として紀勢国道事務所と協力してPRブースを出展し、パネル展示、チラシ配布等を行い、イベント参加者に対して太平洋岸自転車道のPRを実施（12月1日）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【道路企画課、道路管理課】</p>
<p><b>8 国への提言・提案、要望活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度国への提言・提案、要望活動を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">事業費：－千円</p>	<p>5月15日、16日に国への提言・提案活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会など大規模スポーツ大会の終了後における地域スポーツの推進に向け、大会で活躍した選手の地域スポーツでの活躍の場の確保やホストタウンの取組に係る国の財政支援制度の継続などについて、国への提言活動を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【総務企画課ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会における真珠の利用促進や大会を契機とした国際水準GAPの認証取得促進など、グローバル化に対応する強い農林水産業の構築に向けた支援の充実・強化について、国への提言活動を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【農産園芸課、畜産課、森林林業経営課、水産資源・経営課ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方への更なるインバウンド誘致のため、ゴルフツーリズムのビジネスモデル確立に向けたモデル事業や、新たなモビリティサービスの推進に向けたMaas実証実験事業の採択に向け、国への提言活動を実施。いずれの事業も採択された。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【観光政策課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会など大規模スポーツ大会の終了後における地域スポーツの推進に向け、大会で活躍した選手の地域スポーツでの活躍の場の確保やホストタウンの取組に係る国の財政支援制度の継続などについて、国への提言活動を実施（11月13日）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【総務企画課ほか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会における真珠の利用促進や大会を契機とした国際水準GAPの認証取得促進など、グローバル化に対応する強い農林水産業の構築に向けた支援の充実・強化について、国への要望活動を実施（11月26日）</li> </ul> <p style="text-align: right;">【農産園芸課、畜産課、森林・林業経営課、水産資源・経営課】</p>
<p><b>9 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京オリンピック・パラリンピックに関連する情報の収集を的確に行うとともに、首都圏における三重県の情報発信がよりスムーズに、より効果があげられるように、適切なサポートを実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">事業費：－千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏において発信される関連情報の収集を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">【東京事務所】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の予算情報や東京オリ・パラ連絡調整会議に係る調整及び関連情報の収集を継続するとともに、大会を契機に実施する三重県の情報発信について、担当部局と連携しながら、首都圏での活動をサポート</li> </ul> <p style="text-align: right;">【東京事務所】</p>